

News Release

(別添)

2024年11月28日
N I T E (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所



ホコリも積もれば事故となる ～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～ (東海4県版)

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、配線器具^{※2}の事故は2019年度から2023年度の5年間に東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)で合計38件あり、そのうち火災は34件(89%)に至っており大きな割合を占めています。また、被害状況は軽傷2件(5%)、拡大被害33件(87%)、製品破損3件(8%)に至っています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

(※2) コンセント、マルチタップ、延長コード及びテーブルタップを対象とする。

1. 配線器具による製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)^{※3}

年度	静岡	愛知	岐阜	三重	合計
2019	1 (1)	2 (1)	1	1 (1)	5 (3)
2020	1 (1)	2 (2)	0	2 (2)	5 (5)
2021	0	2 (2)	2 (2)	3 (3)	7 (7)
2022	1 (1)	8 (7)	1 (1)	0	10 (9)
2023	1 (1)	9 (8)	1 (1)	0	11 (10)
合計	4 (4)	23 (20)	5 (4)	6 (6)	38 (34)

(※3) ()内は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※4

被害状況※5		静岡	愛知	岐阜	三重	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	1 (1)	1 (1)	0	2 (2)
物的被害	拡大被害※6	3 (3)	21 (18)	4 (3)	5 (5)	33 (29)
	製品破損	1 (1)	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)
合計		4 (4)	23 (20)	5 (4)	6 (6)	38 (34)

(※4) ()内は火災件数。

(※5) 物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。

(※6) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の県別及び配線器具別 事故発生件数を表 3 に示します。

表 3 「県別」及び「器具別」の事故発生件数（単位：件）※7

器具別	静岡	愛知	岐阜	三重	合計
テーブルタップ	3 (3)	16 (16)	4 (3)	3 (3)	26 (25)
延長コード	1 (1)	6 (3)	1 (1)	3 (3)	11 (8)
マルチタップ	0	1 (1)	0	0	1 (1)
合計	4 (4)	23 (20)	5 (4)	6 (6)	38 (34)

(※7) ()内は火災件数。

(4) 東海 4 県の事故事象別及び被害状況別 事故発生件数を表 3 に示します。

表 4 「事故事象別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※8

事故事象	被害状況※8			
	軽 傷	拡大被害※9	製品破損	合 計
ほこり、水分の付着や液体などの浸入で トラッキング現象が発生して異常発熱	1 (1)	8 (8)	1 (1)	10 (10)
電源コードやコードプロテクターの 強度不足により断線してショート	0	4	0	4
電源プラグの変形などで刃受け金具との 接触不良が生じて異常発熱	0	3 (3)	0	3 (3)
外から力が加わるなどで電源プラグ 栓刃可動部に接触不良が生じて発火	0	1 (1)	0	1 (1)
外火が疑われる	0	1 (1)	0	1 (1)
配線器具内での接触不良による異常発熱	0	1 (1)	0	1 (1)
その他	1 (1)	15 (15)	2 (2)	18 (18)
合 計	2 (2)	33 (29)	3 (3)	38 (34)

(※8) ()内は火災件数。

(※9) 物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。

(※10) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 配線器具の事故事例

ほこり、水分の付着や液体などの浸入でトラッキング現象が発生して異常発熱：テーブルタップ

2021年4月（岐阜県、年代不明・女性、軽傷）

【事故内容】

テーブルタップに電気製品を接続していたところ、火災警報器が鳴動したため確認すると、テーブルタップ及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。

【事故原因】

テーブルタップに出火の痕跡は認められないことから、接続されていたACアダプターの栓刃間でトラッキング現象が発生し、出火に至ったものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】火災、出火、栓刃、トラッキング

ほこり、水分の付着や液体などの浸入でトラッキング現象が発生して異常発熱：マルチタップ

2023年5月（愛知県、年代・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

延長コードを使用中、マルチタップ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故原因】

延長コードを観賞魚用水槽の近くで使用していたため、マルチタップの内部に水分が浸入してトラッキング現象が生じ、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「屋外、水のかかりやすいところ、湿気の多いところでは使用しない。」旨、記載されている。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】延長コード、マルチタップ、トラッキング

電源プラグの変形などで刃受け金具との接触不良が生じて異常発熱：延長コード

2023年9月（愛知県、40歳代・男性、拡大被害）

【事故内容】

延長コードを使用中、コードコネクターボディ付近から異音が生じて出火し、周辺を焼損した。

【事故原因】

延長コードにエアコンの電源プラグを接続して使用していたため、繰り返しのエアコン始動時の突入電流に耐えられず、延長コードの刃受け金具部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

なお、エアコンの取扱説明書には、「必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。延長コードは使用しない。接触不良、発熱による火災の原因になる。」旨、記載されている。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】延長コード、電源プラグ、接触不良、エアコン

3. 配線器具による製品事故の実験映像について

配線器具による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所
支所長 浅井 幹夫
担当者：横山、横田
電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902